

富士山噴火に対応するための火山砂防事業(山梨県側) の平成30年度当初予算についての知事コメント

平成30年3月30日

- 富士山が噴火した場合、地域住民の生命財産はもとより多くの観光客への影響が懸念されることや火山噴火対策が特殊かつ高度な技術力を必要とすることから、国の直轄事業化を要望してきたところです。
- 本日、国土交通省により、平成30年度の当初予算において、富士山噴火に対応するための火山砂防事業(山梨県側)の新規事業化(予算2.2億円)が発表され、明年度より、いよいよ山梨県側において火山噴火対策が進められることになりました。
- 大変喜ばしく思うとともに、国土交通省をはじめ、これまでご尽力頂いた、地元期成同盟会や県関係国会議員並びに県議会議員の皆様に感謝申し上げます。
- 引き続き県としては、直轄砂防事業を進めるための、関係機関との調整などに最大限の努力をするとともに、直轄砂防事業が、確実に推進できるよう、予算の確保など引続き要望して参ります。

山梨県知事 後藤 斎

中部横断自動車道 富沢 IC～六郷 IC 間の平成 30 年度 当初予算額についての知事コメント

平成 30 年 3 月 30 日

- 中部横断自動車道は、本県の産業・経済の発展及び観光振興等に寄与するとともに、大規模災害発生の際の、避難や救援のための命の道ともなる重要な道路であることから、特に重要な県政課題として、かねてより、国などに対して機会ある毎に早期整備を要望してきたところであります。
- 本日、国土交通省により、平成 30 年度の当初予算において、中部横断自動車道の富沢 IC から六郷 IC 間について 328億円の予算配分が発表されました。
- 国土交通省をはじめ、建設促進期成同盟会や県関係国会議員並びに県議会議員の皆様に感謝申し上げますとともに、大変喜ばしく思っております。
- 引き続き県としては、沿線自治体と連携して事業推進に出来る限り協力していくとともに、一日も早い全線開通に向けて努力して参ります。

山梨県知事 後藤 斎